

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第5部門第2区分
【発行日】令和7年4月30日(2025.4.30)

【国際公開番号】WO2024/070710
【出願番号】特願2024-550061(P2024-550061)
【国際特許分類】
F16F 9/48(2006.01)
【FI】
F16F 9/48

10

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月21日(2025.2.21)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

作動流体が封入されたシリンダと、
前記シリンダ内に摺動可能に嵌装され、該シリンダ内を2室に区画するピストンと、
前記ピストンに連結されると共に前記シリンダの外部に延出されたピストンロッドと、
を備え、

前記ピストンは、

前記ピストンの移動により前記シリンダ内の一方の室と他方の室との間で作動流体を流通させる第1通路および第2通路と、

前記第1通路と連通し、ピストン速度が低速で開弁する第1減衰バルブが載置される第1シートと、該第1シートよりも大径で前記室側に設けられ、前記第1減衰バルブが開弁した後に開弁する第2減衰バルブが載置される第2シートと、

30

を有する第1ピストン体と、

前記ピストンの移動により前記シリンダ内の一方の前記室と他方の前記室との間で前記作動流体を流通させる第3通路および第4通路と、

前記第4通路と連通し、ピストン速度が低速で開弁する第3減衰バルブが載置される第3シートと、該第3シートよりも大径で前記室側に設けられ、前記第3減衰バルブが開弁した後に開弁する第4減衰バルブが載置される第4シートと、

を有する第2ピストン体と、

を有し、

前記第1通路と前記第3通路とが連通し、前記第2通路と前記第4通路とが連通するよう、前記第1ピストン体と前記第2ピストン体とが接続されるショックアブソーバ。

40

【請求項2】

前記第1減衰バルブまたは前記第3減衰バルブには、前記室に向かう流れに対し開弁し、反対方向の流れに対し閉弁するチェック弁が設けられている請求項1に記載のショックアブソーバ。

【請求項3】

前記第1減衰バルブまたは前記第3減衰バルブには、前記室に向かう流れに対し開弁し、反対方向の流れに対し閉弁するチェック弁を設ける請求項1に記載のショックアブソーバ。

【請求項4】

作動流体が封入されたシリンダと、

50

前記シリンダ内に摺動可能に嵌装され、該シリンダ内を2室に区画するピストンと、
前記ピストンに連結されると共に前記シリンダの外部に延出されたピストンロッドと、
を備え、

前記ピストンは、

前記ピストンの移動により前記シリンダ内の一方の室と他方の室の間で作動流体を流通させる第1通路および第2通路と、

前記第1通路と連通し、ピストン速度が低速で開弁する第1減衰バルブが載置される第1シートと、該第1シートよりも大径で前記室側に設けられ、前記第1減衰バルブが開弁した後に開弁する第2減衰バルブが載置される第2シートと、

を有する第1ピストン体と、

前記ピストンの移動により前記シリンダ内の一方の前記室と他方の前記室との間で前記作動流体を流通させる第3通路および第4通路と、

前記第4通路と連通し、ピストン速度が低速で開弁する第3減衰バルブが載置される第3シートと、該第3シートよりも大径で前記室側に設けられ、前記第3減衰バルブが開弁した後に開弁する第4減衰バルブが載置される第4シートと、

を有する第2ピストン体と、

前記第1ピストン体および前記第2ピストン体に設けられるピストンバンドと、

を有するショックアブソーバの製造方法であって、

前記第1通路と前記第3通路とが連通し、前記第2通路と前記第4通路とが連通するよう、前記第1ピストン体の一面と前記第2ピストン体の一面とを接続する第1ステップと

前記第1通路の前記第3通路とは反対の端部と、前記第3通路の前記第1通路とは反対の端部と、前記第2通路の前記第4通路とは反対の端部と、前記第4通路の前記第2通路とは反対の端部と、前記ピストンバンドが装着される溝と、を加工する第2ステップと、

前記溝に前記ピストンバンドを装着する第3ステップと、

を含み、

前記溝が、

複数の浅溝部と、

前記複数の浅溝部よりも前記第2シート側にあつて前記複数の浅溝部よりも深さが深い深溝部と、

を有し、

前記第3ステップが、前記ピストンバンドを、前記第2シートを介して前記深溝部に装着した後、前記複数の浅溝部に装着する、

ショックアブソーバの製造方法。

10

20

30

40

50